

平成 26 年度（2014 年度） 神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程（前期課程）
地域文化系領域 アジア・太平洋文化論コース 入学試験問題（専門科目）

（注）問題用紙 3 枚、解答用紙 2 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I

以下に挙げる新聞記事は、国際政治における謝罪について研究する政治学者ジェニファー・リンド氏（米ダートマス大学准教授）に対するインタビューをもとにしたものである。この記事を読んで、戦争後の和解と謝罪が問題となっているアジア・太平洋地域の二国間関係を一つ取り上げ、その二国間に生じた問題とその後の対立の例について具体的に言及しながら、リンド氏の主張を論評しなさい。

（以下、新聞記事より抜粋）

（著作権の関係上、引用文は全て省略）

(著作権の関係上、引用文は全て省略)

(記事の抜粋は、以上)

【出典】「歴史認識、解決を探る 国家の謝罪研究、リンド准教授に聞く」『朝日新聞』2013年8月22日付記事。出題に際し、記事中の見出し、写真キャプション等を省略し、リンド氏の経歴紹介の個所がそれとわかるよう、加筆した。

問題Ⅱ 次の問題(1)～(6)の中から1問を選択して、2枚目の解答用紙に解答しなさい。
(選択した問題番号を解答の冒頭に明示すること)

(1) 東南アジア上座仏教圏の中で、「現代仏教」(modern Buddhism)の特徴を持つと考えられる個人ないしグループの例を一つ取り上げ、その思想と活動について論じなさい。

(2) 20世紀以降の東南アジア地域における国際的な人の移動の特徴を、19世紀以前の移動の特徴と比較して二つ以上挙げなさい。

(3) 多文化主義と少数者との関係について、どのような関係性がみられるのか、具体的な事例を論じなさい。その上で、それについて、どのような研究が可能か、述べなさい。

(4) 近年中国の都市・農村で抗議運動や騒乱が頻発しているといわれますが、その社会的背景と原因について論じなさい。

(5) 仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌など、中国の価値観に関する基本概念のなかから、あなたが最も核心的であると考えている概念をひとつ選び、中国(とりわけ漢族)の家族観・家族制度またはその他の概念との関連性という視点から選んだ理由を説明しなさい。

(6) 20世紀初めに清朝政府による漢人農民の北方移民政策が、「封禁」から「移民実辺(殖民実辺)」へと変化していく原因と、漢人農民流入に関連して生じたモンゴル高原での民族紛争の事例とを論述しなさい。